

工芸高等学校定時制 令和5年度 教科：(家庭科) 科目：(家庭基礎) 年間授業計画

教科：(家庭科) 科目：(家庭基礎)

単位数：(2) 単位

対象：(第2学年A科～G科)

教科担当者：

使用教科書：(Survive!!高等学校家庭基礎)

使用教材：(LIFEおとなガイド、ワークノート)

	指導内容	科目の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	青年期を生きる	私たちは、人生のどの地点を歩んでいるのか、また各ライフステージは、どのような発達課題があるのかを考える。	【評価の観点】 (1)知識・技能 生涯を見通した自己の生活についての学びを理解し適切にできる。 (2)思考・判断・表現 生涯を見通した自己の生活について理解し、問題を見出し、解決策を構想することができる。 (3)主体的に学習に取り組む態度 日頃の授業での活動、姿勢、提出物が提出できているか、課題の解決に主体的に取り組むことができているか、振り返って生活を改善したり、生活を創造し実践しようとしているか。	15
5月	私たちと衣生活	・近年の消費行動の多様化・個性化が多量の死蔵品を生む要因となっていることを理解し、消費のあり方を考える。 ・衣生活の面からできる、環境に負荷を与えない行動を考え、実践する ・中古衣料のリユースやリフォームの工夫をする。 ・衣生活の面からできる、環境に負荷を与えない行動を考え、実践する。		28
6月	被服実習	玉止め、玉結び、本返し縫い、まつり縫い、ミシンの操作を学び、衣服の補修についてまなぶ。また環境に配慮した消費生活を送れるようにエコバックを作成していく。		36
7月	被服実習	・被服の手入れについて、主体的に取り組む態度を養う。		20
8月				
9月	調理の基本 ライフステージと食事	・食品の選択・計量・器具の扱い、および包丁の使い方、野菜の切り方など調理の基本技術を習得する。ライフステージごとに、必要な栄養素や嗜好の違いを理解する。		32
10月	家族、家庭と社会のかかわり	家族、家庭の機能はどのように変化してきたのか、家族員相互の権利と義務はどういうものか考える		32
11月	子供の発達	命の始まり、子供の体と心の発達、子供の発達段階に応じてどのような遊びをするのか、親の役割とは何かを考える。		28
12月	高齢期を生きる	高齢社会の現状を課題を社会保障制度と共に考える。		24
1月	私たちと住まい平面図の活用	・人生における各ライフステージに必要なとされる居住条件と住まい方について考える。 ・住まいは、人が何十年も暮らすものであり、だれでもどんな状況でも快適に過ごせるような、住まいの必要条件を考える。		24
2月	人の一生と住まい	私たちは住まいの中でどのような生活行為をしているのが間取り図を作成しながら考える。		24
3月	消費者問題を考える	・サービスの購入はすべて契約であることを知り、契約の重要性を理解する。 ・消費者被害の事例を通して、消費者被害の状況を理解し、消費者被害が起こる原因を考える。 ・契約した後でも、考え直して解約できる方法があることを理解する。		16